

平成 27 年 6 月 10 日

各 位

神奈川県横浜市港北区綱島東五丁目 8 番 8 号
株 式 会 社 山 王
代 表 取 締 役 社 長 甲 山 文 成
(コード番号：3441)

問 い 合 せ 先 専 務 取 締 役 鈴 木 啓 治
管 理 本 部 長
電 話 番 号 0 4 5 (5 4 2) 8 2 4 1

連結業績予想の修正及び特別損失の発生に関するお知らせ

最近の業績動向を踏まえ、平成 27 年 3 月 13 日に公表した平成 27 年 7 月期通期の業績予想を下記の通り修正するとともに、特別損失を計上することになりましたのでお知らせいたします。

記

1. 通期連結業績予想の修正について

平成 27 年 7 月期通期連結業績予想の修正（平成 26 年 8 月 1 日～平成 27 年 7 月 31 日）

	売上高	営業利益	経常利益	当期純利益	1株当たり 当期純利益
	百万円	百万円	百万円	百万円	円 銭
前回発表予想(A)	7,900	85	90	△950	△205.81
今回修正予想(B)	7,500	△ 320	△ 315	△ 1,350	△ 292.46
増減額(B-A)	△ 400	△ 405	△ 405	△ 400	
増減率(%)	△ 5.1	—	—	—	
(ご参考)前期実績 (平成26年7月期)	7,334	36	42	29	6.49

修正の理由

第 2 四半期連結累計期間まで堅調に推移してきたスマートフォンやタブレット端末向け等の I T 機器向けの受注について、中国経済の構造調整等による新興国経済の成長鈍化により、中国セグメントを中心に受注状況が急激に悪化しており、第 4 四半期連結累計期間においても厳しい状況が想定されることから、売上高は前回予想数値を下回る 7,500 百万円となる見込みです。

また、損益面においても上記の売上高減少に加え、当第 3 四半期連結累計期間以降、フィリピンセグメントにおいて、めっき工程での歩留りが急激に低下しており、改善活動を行ってきたものの、第 4 四半期連結累計期間末までには歩留りの改善が困難な見込から、営業利益、経常利益、当期純利益ともそれぞれ前回予想値から下方修正いたします。

2. 特別損失の発生について

(減損損失について)

平成 27 年 7 月期第 2 四半期において、中国セグメントで計上いたしました減損損失について、換算レートの変更に伴い減損損失が増加しました。また、第 2 四半期に引き続き追加取得の固定資産についても減損損失を計上することになりました。

この結果、平成 27 年 7 月期第 3 四半期において、中国セグメントの減損損失として 79 百万円計上いたしました。

以上